

一般財団法人 中部貸切バス適正化センター

臨時適正化事業諮問委員会議事録

1. 開催日時 令和6年5月31日（金）
午前10時00分～午前10時55分
2. 開催場所 Zoom 会議（名古屋市中区金山1丁目9-19）
3. 議 事
報告事項1 中期経営計画検討委員会の設置について
報告事項2 諮問委員会規程の改定について
報告事項3 理事の追加選任（案）について
第1号議案 令和6年度収支予算（変更案）について
4. 出席者
諮問委員3名（委員総数4名）
伊豆原 浩二（委員長）、石原 英児、吉田 典子
代表理事（会長）
加藤 博和
事務局1名
杉本 忠久（事務局長）
5. 会議の概要

（1）議事定足数報告

定刻に至り、杉本事務局長が開会を宣し、加藤会長の挨拶に続いて、本日の諮問委員会は諮問委員総数4名中3名の出席があり、委員会規程第8条第1項の規定により成立したことを報告した。また、議事録署名人について石原委員、吉田委員を指名した。

（2）議長の選任

杉本事務局長が委員会規程第6条第2項の規定により委員会の議長は委員長があたることを説明した。

（3）議案審議

（決議事項）

ア．報告事項1から報告事項3について

議長の求めに応じ、事務局より資料に基づき説明がなされた。

伊豆原委員長から「中期計画の中身について」質問があり、事務局から「方針や目標、その為の事業や体制、根幹となる財源として負担金や国の公的資金のあり方、取組の結果として将来のビジョン、などを骨子（案）として考

えている」旨の説明があり、加藤会長から「事務局長の骨子（案）を基にさらに検討をして第1回会議で提案したい」旨の説明がありました。

石原委員から「国の公的支援の可能性はあるか。トラックの適正化に関しては国の支援金があるのか」質問があり、事務局から「トラックは、県からの交付金をトラック適正化機関へ活用している。これまでも再三国に要望してきたがゼロ回答となっている。しかしながら、安定的な事業運営を行うためにも国の支援は必要と考えている」旨の説明がなされた。

吉田委員から「利用者側からすれば安心安全のためには国の公金を入れるべきと考える。また、人材育成や働き甲斐のある環境づくりも必要。事業者の理解を得るためには伝え方やマネジメントなどスキルも必要である」旨の意見があり、事務局から「指導員のスキルアップ向上の取組もしていきたい」旨の説明がなされた。

伊豆原委員長から「専務理事がようやく設置されることとなり組織的には整った。あとは職員の体制をどうするか課題。中期計画が中部発信で他にも波及していけばよいと思う。」旨の発言がありました。

イ. 第1号議案について

議長の求めに応じ、事務局より資料に基づき説明がなされた。

議長が議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

6. 閉　　会

以上をもって議案の審議等を終了したので、午前10時55分、議長は閉会を宣した。

本日の議事を明確にするため、議事録を作成し、議事録署名人が記名押印する。

令和6年5月31日

議事録署名人 諮問委員 石原 英児

 諮問委員 吉田 典子